

歩 脚 の 再 生

加 藤 正 世

Regeneration of legs. By Masayo Kato

成長の中途に於て體の附屬物を失ふ時は、再び其の部分に同一器官が発生することがある。トカゲの尾、ナナフシの肢等は最も普通に見られる再生現象であるが、節足動物ではその齡中には絶対に再生することなく、次の齡に於て初めて現はれるのである。そして、その最初に再生したものが未だ若齡であるならば、脱皮を重ねるに従つて遂には略々完全な大きさのものとなるのであるが若しも最後の齡に再生肢が出来たとすると、成長はそれで停止するのであるから生涯片輪で終るわけである。

私の部屋の一隅にコガネグモの子供が一匹網を張つて居るので、その儘大切に置いてやつたが、よく見ると右方の第一と第四の前脚が全く無く、唯二本だけの肢で不自由さうに暮して居るのであつた。その後數日して見ると、一回脱皮をして體は非常に大きくなつた。そして無かつた筈の第一、第四の前脚が短かい乍らに立派に現はれて、網も見事に作つて居るのであつた。申す迄もなく再生したのである。次の脱皮を終れば均合つた完全な肢になることは間違ひ無いと思ふが、それでは折角の標本の價值が無くなるから、殺して乾式標本とした。

猶肢の長さは次の如くである。

(完全肢) 第一肢 23 mm., 第四肢 22 mm.

(再生肢) 第一肢 12 mm., 第四肢 13 mm.

太さは約四分の一、全く黒色で銀色の毛斑が無い、